

日本毒性学会生体金属部会 主催
メタルバイオサイエンス研究会2019
～メタロミクスとの融合的発展～

寄付金・広告募集趣意書

実行委員長 鍛冶 利幸

1. 会議の名称: メタルバイオサイエンス研究会 2019
2. 主催機関: 日本毒性学会生体金属部会
メタロミクス研究フォーラム(共催)
3. 協賛機関: 協賛:日本薬学会, 日本微量元素学会, 日本分析化学会,
日本衛生学会, 日本質量分析学会
後援:英国王立化学会 (Royal Society of Chemistry)
4. 代表責任者: 実行委員長 鍛冶 利幸 (東京理科大学 教授)
副実行委員長 平田 岳史 (東京大学 教授)
実行委員 梅村 知也 (東京薬科大学 教授)
沖野 晃俊 (東京工業大学 准教授)
小椋 康光 (千葉大学 教授)
古武弥一郎 (広島大学 教授)
中西 剛 (岐阜薬科大学 教授)
藤原 泰之 (東京薬科大学 教授)
三浦 伸彦 (横浜薬科大学 教授)
安井 裕之 (京都薬科大学 教授)
(五十音順)
5. 会 期: 2019年10月29日(火)~30日(水)
6. 場 所: 東京理科大学神楽坂キャンパス 森戸記念館(13号館)
〒162-0825 東京都新宿区神楽坂4丁目2-2
7. 参加予定数: 約180名
8. 事 務 局: 〒274-8510 千葉県船橋市三山2-2-1
東邦大学薬学部衛生化学教室内
「メタルバイオサイエンス研究会2019」事務局
事務局長 山本 千夏 (東邦大学 教授)
TEL & FAX 047-472-1827
E-mail: secretary_office@jsot-mbs2019.com
9. ホームページ: <http://jsot-mbs2019.com/>

10. 開催趣旨:

金属には毒物と生理活性物質の2つの側面がある。日本毒性学会は2017年に生体金属部会を設立し、金属の毒性と生理作用の研究を統合的に発展させる場としてメタルバイオサイエンス研究会を年1回開催している。

金属の生物活性・毒性を正確に解析するためには金属の生体内動態、生体内における存在形態、それらを明らかにする技術に関する議論が不可欠である。しかしながら、国内には金属と生体との係わりに関する研究を対象とする学会や研究会等が多数存在するものの、それらの研究対象は細分化されており、相互の連携もほとんどないのが実情である。

メタロミクスは金属・微量元素を包括するオミクスサイエンスである。その研究展開のために、メタロミクス研究フォーラムが開催され、その中で金属の生体内動態、生体内における存在形態、それらを明らかにする技術が研究されてきた。

今回、メタルバイオサイエンス研究会を母体としつつ、日本毒性学会生体金属部会とメタロミクス研究フォーラムの研究者が一堂に会して互いの研究を融合的に発展させる機会を持つことになった。すなわち、メタルバイオサイエンス研究会2019は、金属の生物活性・毒性とその分析の研究に携わる研究者間の交流と情報交換を推進することによって金属研究全般の発展に寄与することを目的している。

11. 会議の概要:

特別講演1, 受賞講演3, シンポジウム4, 一般口頭発表, 一般ポスター発表, 生体金属部会賞授賞, 研究奨励賞授賞, 閲賞(若手優秀研究賞)授賞, RSC Metallomics Award(学生ポスター賞)授賞, 懇親会, 常任幹事会, 幹事会

12. 募金趣旨(寄付または広告を必要とする理由):

現代社会の生活は、農薬や食品添加物に代表される様々な化学物質の恩恵のもとに成り立っている。一方で、我々はそうした化学物質が潜在的にもっている危険性に曝されている。特に金属は生体に対する作用が強く、しかも環境中に広く存在するために今も人の健康に対する有害性が懸念されている。一方、金属には必須微量元素として生体機能維持に重要な役割を果たしているものも多数存在する。こうした金属と生体の関わりを解明する上で、金属のオミクスサイエンスであるメタロミクスはきわめて重要な研究戦略である。金属の生物活性・毒性とその分析の研究に携わる研究者間の交流と情報交換を推進するためには金属研究の権威が集って質の高い討論を繰り広げる本研究会をより充実したものにすることが不可欠であり、寄付および広告をお願いする次第である。

1 3. 収支予算書

【収入の部】

(単位:円)

科目		予算額		備考
事業収入				
	事前参加登録料	1,110,000		
	一般 (120 名×9,000 円)		1,080,000	
	学生 (30 名×1,000 円)		30,000	
	当日参加登録料	220,000		
	一般 (20 名×10,000 円)		200,000	
	学生 (10 名×2,000 円)		20,000	
	懇親会参加登録料	720,000		
	一般 (80 名×8,000 円)		640,000	
	学生 (20 名×4,000 円)		80,000	
	当日懇親会参加登録料	120,000		
	一般 (10 名×10,000 円)		100,000	
	学生 (4 名×5,000 円)		20,000	
	広告掲載料	500,000		
	日本毒性学会からの開催援助金	300,000		
収入予算額合計		2,970,000		

【支出の部】

(単位:円)

科目		予算額		備考
運営費		830,000		
	事務費		330,000	
	消耗品費		50,000	
	通信費		80,000	
	印刷費		200,000	
	講演要旨集		500,000	
当日運営費		1,940,000		
	講演会開催費		900,000	
	会場費		500,000	
	設営・運営費		400,000	
	懇親会会場費		840,000	飲食代代込み
	講師招待費		200,000	
雑費		200,000		
支出予算額合計		2,970,000		

メタルバイオサイエンス研究会2019

寄付金募集要領

1. 寄付の募集

「メタルバイオサイエンス研究会2019」の趣旨を御理解いただき寄付金によるご支援をお願いします。

2. 寄付の申込方法

寄付金申込書に必要事項をご記入の上、運営事務局に電子メールでお送り下さい。
「メタルバイオサイエンス研究会2019」運営事務局
(株)仙台共同印刷 E-mail:jsot-mbs2019@senkyo.co.jp

3. ご寄付は、1口 10,000 円より受付いたします。

4. 寄付金の振込先

1) 郵便振替口座 (※郵便局に備え付けの用紙をご利用ください。)

口座記号番号 : 00200 - 8 - 89669

加入者名 : メタルバイオサイエンス研究会2019

2) ゆうちょ銀行

金融機関コード:9900

支店:○二九(ゼロニキュウ)

口座番号:当座 0089669

5. 寄付申込締切

2019年9月20日(金)

6. ご寄付いただいた企業・団体の名称を要旨集に明記いたします。

7. 50,000円以上のご寄付をいただいた場合には、本研究会の参加証と要旨集を2名分進呈させていただきます。

メタルバイオサイエンス研究会2019 広告募集要領

1. 広告の募集 「メタルバイオサイエンス研究会2019」の趣旨をご理解いただき要旨集またはホームページへの広告掲載をお願いします。

2. 募集要項

【「メタルバイオサイエンス研究会2019」要旨集】

◆概要

- ・発行部数 250 部
- ・配布対象者 メタルバイオサイエンス研究会2019参加者

◆広告掲載料

- ・要旨集 A4版 白黒 1ページ(タテ) 60,000円
A4版 白黒 半ページ(ヨコ) 30,000円

【ホームページ バナー広告】

◆概要

- ・広告媒体名 「メタルバイオサイエンス研究会2019」ホームページ
- ・URL <http://jsot-mbs2019.com/>
- ・広告方法 バナー画面のローテーション表示及び指定URLへのリンク

◆バナー広告掲載料

- ・ホームページ バナー広告 1口 10,000円

3. 広告の申込方法

広告申込書に必要事項をご記入の上、運営事務局に電子メールでお送りください。
「メタルバイオサイエンス研究会2019」運営事務局
(株)仙台共同印刷 E-mail: jsot-mbs2019@senkyo.co.jp

4. 申込締切 2019年9月20日(金)

5. 広告原稿締切 2019年9月20日(金)

6. 広告掲載料の振込先

1) 郵便振替口座 (※郵便局に備え付けの用紙をご利用ください。)
口座記号番号 : 00200 - 8 - 89669
加入者名 : メタルバイオサイエンス研究会2019

2) ゆうちょ銀行

金融機関コード: 9900
支店: 〇二九(ゼロニキュウ)
口座番号: 当座 0089669